

令和7年度 部局経営目標

年度	令和7年度	作成日	令和7年4月1日
部局名	勝山振興局	部局長名	谷岡 理江
(1) 部局の方向性（テーマ）			
・地域の強みを生かした地域振興 歴史、文化、風土、景観等、勝山地域の強みを生かした市民主体の事業や特産品を生かした商品開発等の地域内経済循環を推進し、誘客や関係人口増加に努めます。 ・移住、定住、定着回帰の促進 移住者や定住者を積極的に獲得する取組みや将来の勝山地域を支える高校生の勝山地域定着や市外へ進学した大学生等の回帰を進め、持続可能な地域づくりを促進します。			
(2) 部局の重点施策			
1. 回る経済と脱炭素への挑戦（観光地域づくり）	(1) 重要伝統的建造物群保存地区選定を目指した住民活動の伴走支援（町並み魅力化） (2) 新たな特産品の開発（町並み魅力化） (3) 武家屋敷、郷土資料館の入込客数増（面的展開）		
2. にぎわいにあふれ豊かさを実感できる真庭（移住定住、関係人口）	(1) 空き家情報の把握及び空き家バンクへの登録（移住定住支援） (2) 河川公園の利活用（居場所づくり／高校魅力化） (3) 関係人口創出拠点の支援（定着回帰／移住定住支援／子育て支援）		
(3) 事業成果目標		指標名及び目標値	
●人口減少抑制対策 新しい風を取り込むための移住・定住施策を推進します。 勝山地域の魅力を維持しつつ持続可能なまちづくりを推進するためには、岡山県町並み保存地区指定第1号の真庭市景観重点地区を活かした文化観光要素が不可欠です。ただし、住民減少により景観の根幹である歴史的家屋の取り壊しを避ける働きかけが所有者に対し必要となっています。地域で暮らし生業する住民人財の維持または誘引のため、町並み保存地区内の空き家情報を地域団体の協力で把握し景観保全に繋げ空き家情報バンク登録へ誘引、または景観保全地域団体との情報共有を進めます。		指標： ①空き家情報の把握 ②空き家情報バンク登録誘導 ----- 目標値： ①保存地区内空家全数把握 ②1軒 ----- 令和6年度実績値： ①全数把握（13軒） ②1軒	

●生ごみ資源化対策関連事業 新しい資源の消費量を減らしたり、ごみの管理に関する環境負荷(二酸化炭素など)の排出量を減らすことなど、持続可能なごみ処理体制の構築に向け、生ごみを含む、資源となるごみの更なる回収に寄与するため、生ごみ資源化啓発活動を行う。	指標：啓発活動 目標値：1回 令和7年度新規設定
1 - (2) 新たな特産品の開発（町並み魅力化／第2弾） 真庭の古都「勝山」を再認識していただくため、昨年度に引き続き勝山ならではのグルメを開発し、観光入込客数増加につなげ観光関係者が連携する地域の活性化にも努めます。	指標：ご当地グルメ開発 目標値：1品以上 令和6年度実績値：1品
1 - (3) 武家屋敷、郷土資料館の入込客数増（面的展開） 歴史文化の薫る古き良き城下町をそぞろ歩き、伝統的家屋や地元素材を直に感じていただくため、文化及び観光の振興施設である「真庭市交流体験施設匠蔵」を拠点に武家屋敷、郷土資料館との連携をより深めることで、面的な文化振興を図り、町並み保存地区への誘客と観光客の滞在時間の長時間化を図ります。	指標：武家屋敷、郷土資料館の入込客数 目標値：5,000人 令和6年度実績値(：4,888人
2 - (2) 河川公園の利活用（居場所づくり／高校魅力化） 昨年度完成した「勝山ストリートパーク川夢」をより一層活用し、市内外を問わず多くの若者を取り込み、将来の勝山地域を支える高校生等の定着や移住者獲得のための動きを活発化させます。あわせて、勝山高校の魅力化にも寄与できるよう努めます。	指標：河川公園の利活用 目標値：1回以上のイベント等開催 令和7年度新規設定
2 - (3) 交流拠点 郷宿の活動支援 令和7年度に、市有財産の郷宿が町並み保存地区内の関係人口創出拠点「郷宿1764」としてオープンするにあたり、勝山の魅力を伝える拠点としての機能を活かした関係者と地域との連携を図る催しを支援する。	指標：関係人口創出催事の開催 目標値：1回 令和7年新規設定